

行政の窓

北海道林業・木材産業対策協議会が主催

「地材地消」バスツアーが開催されました

「森林整備加速化・林業再生事業」(平成 21 年度～)により、地域材を活用した住宅を見てもらうことを主な目的として、一般の方を対象とした見学ツアーを開催してきました。

平成 24 年度からは、地材地消への理解や地域材利用の足がかりとなることを目的として、住宅だけの見学ツアーに加えて「住宅に使われる地域材はどのようなところから生産されて、どうやって丸太が製材になり、使われるのか」ということを見学者に見て、ふれて、感じてもらうため、川上(山林)から川下(地域材利用建築物)までの一体的な見学ツアーを開催しました。

7 月に後志管内で、建築関係者や林業関係者等を対象に実施するとともに、10 月に十勝管内及び石狩・空知管内で実施したのでご紹介します。



写真1 森林についての説明を受ける見学者

【平成24年度「地材地消」バスツアーの開催状況について】

実施エリア (実施日)	後志管内 (7月30日(月))	十勝管内 (10月13日(土))	石狩・空知管内 (10月27日(土))	
参加対象	工務店及び設計士, 木材関連業者等	一般者	一般者	
参加者数	62名(うちセミナーのみ参加12名)	35名	37名	
見 学 現 場	山林見学	佐々木山林(京極町) *写真2	十勝千年の森(清水町) *写真1	岩崎山林(栗山町)
	加工工場見学	ようてい森林組合(京極町)	オムニス林産協同組合(幕別町) *写真3	木の城たいせつ製材所(栗山町)
	住宅等見学	岩内町道営住宅(岩内町)	紺野建設モデル住宅など(清水町)	カサシマ建設モデル住宅(札幌市) *写真4
	その他	バス内説明「管内の森づくりの取組について」 セミナー「後志産カラマツの強度試験結果について」	バス内説明 「管内の森林概要について」	バス内説明 「地材地消における説明について」

【バスツアーの開催風景について】



写真2 グイマツ雑種F1などの生産林分についての説明を聞く見学者



写真3 「丸太から製材へ」カラマツが製品に加工される現場を見学



写真4 地域材を使った住宅の良さを実感する見学者

(水産林務部林務局林業木材課需要推進グループ)